「召しの中で互いに愛し合いましょう」

ガラテヤ5：13、Ⅰヨハネ4：7～8

兄弟たちあなた方は自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛を持って互いに仕えなさい。

韓国人である私と日本について

私は礼拝の他にラブソナタの働きも担当しています。どの様にすれば日本の教会によく仕える事が出来るかが、私の一番の課題でした。英語も日本語も出来ないので、どうやって私の心を伝えればいいのかわからず、どうしてこのような自分がラブソナタを担当するのか疑問でした。だから、まず、祈る事から始めました。神様は私に祈るようにさせてくれ、神様の心で日本を抱く様にさせて下さり、日本が私の家族だという思いを私に与えてくれました。そして言葉は出来ないですが、神様の中で一つになって礼拝するという夢を与えて下さいました。
私はオイノリ教会に来るまでは日本について考える事もなく、日本の文化や日本人に対しての思いも愛情もありませんでした。ラブソナタを日本でするという宣言を聞いた時、なぜよりによって日本なのかと正直思いました。今もまだ韓国には日本に対する傷があり、日本の国について考える事に難しさがあります。だから当時の私は日本を抱くという事が理解できませんでした。しかし、これは宣言された一人の牧師先生の考えではなかったのです。始まってもすぐなくなって消えてしまうのではないかと思った日本でのラブソナタの働きは、もう１０年が経ちます。その中でラブソナタのスタッフや牧師先生の祈りや奉仕、日本に仕える姿を通して私の心は変えられていきました。私の中で日本に対する思いが変わった一つの事件がありました。１０年前の東京大会での事です。先生は韓国が日本を赦すことが出来ない思いをまず赦して下さいと祈られました。神様の愛がこの日本列島を覆う様に、韓国と日本が神様の愛で愛し合う事が出来る様にと祈られました。私の中に電気が走った様でした。涙が溢れて止まりませんでした。それは私自身に対する悔い改めの涙、日本に対する和解と赦しの涙でした。私の中で日本に対する心が開かれていきました。ラブソナタを通して沢山の人が信じて神様の前に立ち返る姿を見てきました。その姿を通して、私に神様の愛を注いで、日本を愛する事が出来る様にして下さい。神様の愛を日本に伝えるメッセンジャーとして用いて下さいと祈りました。神様は本当に真実な方で、その通りにして下さっています。

神様の始められた働きの中で

一人の牧師先生のビジョンが成っていく形がこの東京大会でした。それは、天から降りてきた神様のメッセージだったのです。よく、多額な財政を使って、いつまでラブソナタを日本でするのですか？と聞かれます。でも、ラブソナタは神様が始められた事なので、この働きは神様が終わられる時まで、神様の計画の中で続いて行くでしょう。その一つの印として、このビジョンは次の牧師先生に受け継がれていっています。私も、以前は賛美のリーダーとして日本に来ていましたが、あまり日本の方々との交わりはありませんでした。だから、自分がラブソナタをするようになって、神様がどんな目的で私を送り、何をしたいと思っているのか、日本と韓国の信徒が一つになり、私は本当に日本を愛する事ができるのか、本当に緊張と期待を持っています。

互いに愛しあう事を通して一つになる。Ⅰヨハネ４；７～８

皆さんは、神様がこの場所に皆さんを呼ばれたと信じていますか？召しが確実であれば、皆が同じ考えを持っているはずです。教会のビジョンと皆さんの心は一つですか。教会は一つのビジョンの為に召された共同体であり、信徒は一つの家族として召されています。神様が皆さんをこの場所に呼ばれました。それを認めるならば神様は喜ばれます。でも、イエス様を通してでなければ、私達は本当に一つになる事は難しいです。イエス様だけが私達を一つにできる力、助けです。イエス様がいなければ、不安定な一致となり、小さな問題でも倒れてしまいます。私達はイエス様というユニフォームを着た一つのチームなのです。一つのビジョンに向かって、進んで行く為には、互いに愛さなければいけません。もし、この事について深く考えていなかったなら、急いでイエス様の中に入って下さい。皆様は神様のビジョンの為に色々な方法で召されたのです。偶然はないです。一つの目標に向かって進むのです。イエス様だけに目を向けて社会に出ていき、互いを見ましょう。信仰があるないにかかわらず、私達の中に愛がなければいつわりです。愛のない人は神を知る事は出来ないのです。互いに愛し合いましょう。愛のないものに神はわかりません。イエス様を信じるなら、私達の中に愛を抱いているはずです。神様は愛に属するものだからです。でも、私もまだ、イエス様を信じると言いながら、他の人を愛する事が出来ているのかと恥ずかしい思いになります。まだ、私の心の中に憎しみや、愛の心が狭い自分がいます。自分に剣を持ってくる人や自分を憎む人、教会の中でも同じ心でない人を愛する事が出来ますか？自分の家族を愛する事は出来ても、外にいる人を命がけで愛する事ができますか？出来ていないなら、み言葉を知識的に読んでいるだけで、まだ、神様の愛を知らないのです。神様の愛を知ったら、行動するようになります。ラブソナタは神様の愛を見せる為に実現する為にあります。神様の愛を流す為に召されたのが私達なのです。この世に向かって神様の愛を流していく美しい共同体になって下さい。GW にあぐりガーデンに１５００人の子供たちが来たと聞きました。私はそこで皆さんが仕える姿を見ました。本当に素晴らしいです。オイノリ教会もやっていかないといけないと思いました。オイノリ教会もこの教会の愛の為に祈っています。

愛を持って互いに仕え合う

日本に愛を伝えた一人の牧師先生の本があります。命を懸けて日本を愛したという本です。その１ページを開いた瞬間に涙が溢れました。神様の心をどれほど知れば、躊躇せずにこのように愛せるのかと思いました。教会が一つになって次の世代を救わなければなりません。絶対に彼らと争ってはなりません。争いと分裂を避け、お互いに愛し合って、励まし合って祝福しあって一つになりましょう。福音で韓国と日本が一つになる事が出来れば、アメリカとアフガニスタンも和解でき、パレスチナとイスラエルも一つになる事が出来るでしょう。それは、非常に重要な事です。信じる者達が一つになる事が出来れば、この世も一つになる事が出来ます。皆さん希望を持って下さい。絶望は一番の敵です。未来を恐れないで下さい。福音と信仰を持つ者だけが未来の主人公です。友情で終わるのではなく、愛のツールとなる為に互いに愛し合う事が必要です。
日本に対する神様の愛は終わる事がありません。神様があきらめないので、私達もあきらめません。韓国と日本が愛によって一つになるなら、そのハーモニーは全世界に流れていき、全ての民が驚いて神様に立ち返る様になるでしょう。神様の奉仕者としてお互いに仕え合う者になりましょう。

イエスが愛した様に

イエスが愛した様に、私達も愛し合う。その愛の中で枝となる時、多くの実を結ぶ。人が友の為、
命を捨てる程の愛はない。共に支え合い、共に助け合う、イエスの愛で。共に祈り合い、共に笑い合う、イエスの愛の中。

愛する主よ。互いに愛する事ができなかった、私達を赦して下さい。神様に対する心が本当の真心に変わるようにしてください。あなたがおられなければ私達の愛は偽りです。今日のみ言葉の様に神様の愛の中で互いに仕え合う事が出来る様にしてください。

（要約者：日名　陽子）

（２０１８年5月6日）